



北海道議会議員

がんばろう
小樽・北海道

ただひろ
佐藤 禎洋

令和3年7月号

発行/佐藤禎洋 政務調査室

水産林務常任委員長に就任！！

6月17日北海道議会において、水産林務常任委員長に就任いたしました！

また、任期後半2年間の所属は以下の通りとなります。

水産林務常任委員会 委員長
新幹線・総合交通体系対策特別委員会
筆頭理事

石狩湾新港管理組合議会 議員

自民党道連 副幹事長

総務会 副会長

選挙対策委員会 副委員長

2年間、本道・小樽の為今後も



令和3年第2回定例会予算特別委員会 道政課題について質す

①新しい旅のスタイル事業について

改めて新しい旅のスタイルを実施し、地域の実情に即した取組を実施する必要がある。

【観光振興監】

「観光誘客促進道民割引事業」は、道全体の感染状況が落ち着いていることが、実施の条件となっている。「新しい旅のスタイル」は、圏域内での旅行を対象としており、圏域限定して事業を再開することも可能となっている。これらの事業の実施時期については、感染状況を踏まえ、慎重に判断していく。



②飲食事業者等感染防止対策支援事業について



「北海道におけるまん延防止等重点措置では、措置区域内等においてアクリル板の設置等を行う飲食店による種類提供が一部認められたが、こうした条件を整えるため機械整備等を行う事業者にもこの事業で支援する必要があると考える。道は補助対象となる機器等の購入時期をどのように考えているか。

【地域経済局長】道としては、中小・小規模企業がより効果的な感染防止対策に取り組んでいただけるよう、新たに実施する取組に要する経費への補助の対象については、「まん延防止等重点措置」の適用に伴う、飲食店等への要請を道が公表した6月18日以降の取組とする。

③教員派遣制度について

道教委としてどのように教員派遣制度を進めていくのか。

【学校教育監】戦略的に実施する必要があるとあり、派遣先の見直しを進めるとともに、派遣終了後は、学校の管理職や道教委の指導主事などとして学校運営や本道教育施策の立案に即戦力として携わることができるよう、教員派遣の充実に努める。

東小樽船浜町海岸の浸食、波による家屋被害の対策要望



6月16日（日）平成26年から小樽市等に要望されていた、東小樽船浜町の海岸浸食に関して、海岸線消波ブロック（テトラポット）設置、家屋災害対策の要望を、東小樽長町会西野博孝会長から調査現場で頂いた。

現場は私も小さい頃から海水浴を楽しんだ場所ですが、こんなに浸食が進んでいるとは想像していませんでした。今年に入ってこの現場の浸食被害によりJRの運航が一時停止しました。

小樽市への要望を経て、道の建設管理部と協議を進めます。